

## 再評価時再評価結果(平成25年度)

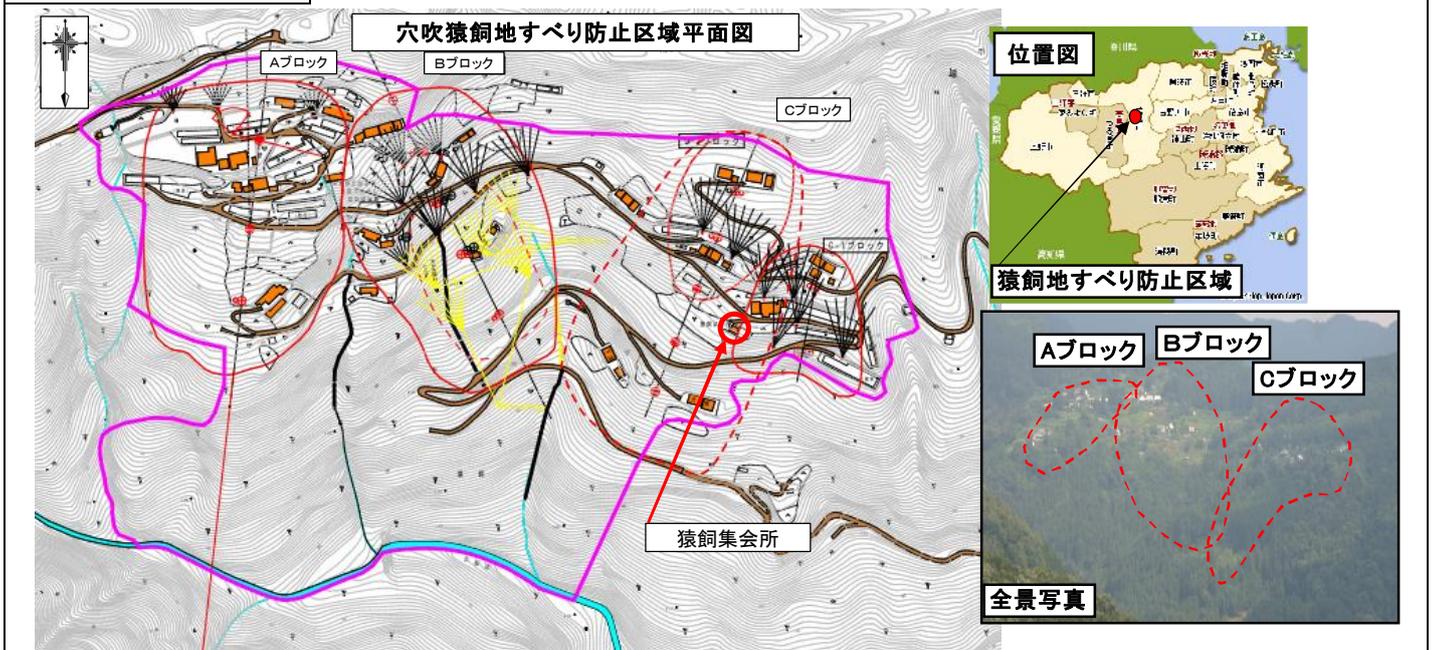
担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 : 大和 章人

### 事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	美馬市穴吹町猿飼	箇所名	穴吹猿飼地すべり防止区域		
事業概要	地すべり防止施設(横ボーリング工、水路工、集水井工)				
事業の目的・必要性	穴吹猿飼地区における地すべり対策事業は、地すべり防止施設等の設置により、人家、道路、公益施設への地すべり変動による被害を除去または軽減する事を目的としている。当地区では、地すべり変動によって市道や宅地に亀裂や沈下が生じていたことから早期対策の必要があった。				
総事業費	430 百万円				

#### 位置図 計画概要図



### 事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用		総便益	
	平成25年度	3.48	4.22	5.0億円	工事費・調査費 等	17.3億円	人家15戸、道路 等
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全対象の人家15戸とその住民の人命と財産を保全する。(一般資産被害軽減効果・人的被害軽減効果)</li> <li>・耕地1.8haを保全し、農作物被害への被害を軽減する。(農作物被害軽減効果)</li> <li>・市道L=2.5km等の公共土木施設を保全する。(公共土木施設等被害軽減効果)</li> <li>・家庭や国・地方公共団体による清掃や土砂撤去被害の軽減。(応急対策費用軽減効果)</li> <li>・森林の保全、ライフライン切断による波及被害の防止(B/C以外の効果) 等</li> </ul>						
社会経済情勢等の変化	近年ゲリラ豪雨等により多発する土砂災害に対して防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害に対して地域の安全や避難路を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。						
事業の進捗状況	全3ブロックで着手しており、Aブロックで横ボーリング工、集水井、Bブロックで横ボーリング工、水路工、Cブロックで横ボーリング工の対策を実施した。全体としては平成27年度概成を目指している。平成25年度の進捗率は事業費ベースで84%である。						
感度分析	残事業費+10%:3.39,残事業費-10%:3.56,工期+10%:3.49,工期-10%:3.46,一般資産+10%:3.77,一般資産-10%:3.17						
事業進捗の見込み	平成27年度の概成に向けて、隘路なし。						
対応方針	継続						
対応方針理由	これまでの対策は地下水位の低下へ一定の効果はあるが、依然地下水位が高く対策の必要がある。また、地元からの要望が高く、事業に対し協力的であり、事業進捗が見込めることから総合的に判断した。						

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

### 継続の理由

区域内では依然として地下水位が高く、さらなる対策が必要である。また、上記事業評価の結果、費用対効果が3.48と事業効果が大きいことに加え、事業進捗も84%と事業完了が比較的近い。したがって、地域の人命・財産の安全を確保するため、平成27年度の完成に向けて地すべり対策事業を実施していく。